

各教育事務所の調査結果

上益城教育事務所

- 1 教科に関する調査の結果
 - (1) 教科に関する調査の結果概要
 - (2) 教科に関する調査の成果と課題（小学校、中学校）
- 2 質問紙調査の結果
 - (1) 児童生徒に対する調査の主な結果
 - (2) 学校に対する調査の主な結果
 - (3) 質問紙調査に関する成果と課題
- 3 今後の重点取組

1－(1) 教科に関する調査の結果（公立小中学校）

本管内の概要

- ・小学校では、**国語・算数・理科**すべて全国平均を下回っている。
- ・中学校では、**国語・数学・理科**すべて全国平均を下回っている。

	【小学校6年生】		
	国語	算数	理科
管内	61%	58%	60%
県	65%	62%	63%
全国	65.6%	63.2%	63.3%

	【中学校3年生】		
	国語	数学	理科
管内	67%	45%	48%
県	68%	49%	49%
全国	69.0%	51.4%	49.3%

※表中の数値は平均正答率（%）、県の値は国から整数値で公表

1－(2) 教科に関する調査の成果と課題（小学校）

成 果

国語 成果が見られた内容

- 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く
【関連問題 3四】
- 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章の良いところを見付ける
【関連問題 3二】

算数 成果が見られた内容

- 被乗数に空位のある整数の乗法の計算をすることができる
【関連問題 1(1)】
- 二つの数の最小公倍数を求めることができる
【関連問題 1(2)】

理科 成果が見られた内容

- 水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している
【関連問題 4(4)】
- メスシリンダーという器具を理解している
【関連問題 2(1)】

課 題

※赤色のアンダーライン（依然として課題である問題）

国語 課題が見られた内容

- 登場人物の相互関係について、描写を基に捉える
【関連問題 2－(2)】
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う
【関連問題 3三ア】

算数 課題が見られた内容

- 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる
【関連問題 2(4)】
- 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる
【関連問題 4(1)】

理科 課題が見られた内容

- 自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる
【関連問題 2(3)】
- 自分で行った観察で収集した情報と追記された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できる【関連問題 1(2)】

1—(2) 教科に関する調査の成果と課題 (中学校)

成 果

国語 成果が見られた内容

- 文脈に即して漢字を正しく書く
【関連問題 2二①】
- 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解する
【関連問題 4三】

数学 成果が見られた内容

- 箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることができる
【関連問題 7(2)】
- 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解している
【関連問題 5】

理科 成果が見られた内容

- 観測した気圧と天気図の気圧が異なる理由を考える学習場面において、観測地の標高を空間的に捉え、気圧の概念を空気の柱で説明できるか問うことで、気圧に関する知識及び技能を身に付けているかどうかをみる
【関連問題 2(1)】
- 複数の脊椎動物の外部形態の考察を行う場面において、あしの骨格について共通性と多様性の見方と働かせながら比較し、共通点と相違点を分析して解釈できるかどうかをみる
【関連問題 4(2)】

課 題

※赤色のアンダーライン (依然として課題である問題)

国語 課題が見られた内容

- 表現の技法について理解する
【関連問題 3一】
- 論理の展開などに注意して聞く
【関連問題 1二】

数学 課題が見られた内容

- 自然数を素数の積で表すことができる
【関連問題 1】
- 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる
【関連問題 6(2)】

理科 課題が見られた内容

- 未知の節足動物とアリの外部形態を比較して共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈できるかどうかをみる
【関連問題 8(3)】
- 課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いているかどうかをみる
【関連問題 5(2)】

2 - (1) 児童生徒に対する調査の主な結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。(最下部除く)

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
慣 等 基 本 的 生 活 習	朝食を毎日食べていますか	94.1	94.6	94.4	90.6	92.8	91.9
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	78.5	90.8	90.4	80.0	93.4	92.2
	普段(月曜日から金曜日)、一日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます。)をしますか(「4時間以上」+「3時間以上、4時間より少ない」の割合)	29.4	29.4	30.7	27.1	24.6	29.8
自 己 有 用 感 等 規 範 意 識、 挑 戦 心、 達 成 感、	自分には、よいところがあると思いますか	75.1	77.8	79.3	76.9	77.5	78.5
	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	87.9	88.2	87.1	89.9	88.4	86.6
	将来の夢や目標をもっていますか	80.7	80.9	79.8	67.8	67.7	67.3
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.4	96.6	96.8	96.3	97.1	96.4
	学校に行くのは楽しいと思いますか	85.0	88.4	85.4	84.6	86.0	82.9
学 習 習 慣 等	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含みます。)	68.4	69.3	71.1	60.6	54.7	58.5
	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます。)(小学校は「30分以上」、中学校は「1時間以上」の割合)	83.0	85.1	85.2	68.0	66.1	69.5
	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。)(「10分以上」の割合)	51.3	55.8	59.6	47.3	42.6	48.6
	家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか(「そのままにしている」の割合)	17.7	15.5	11.6	16.6	14.6	10.9

※第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン、「熊本の学び推進プラン」、「『熊本の学び』アクションプロジェクト」に関連する項目の中から抽出

2 - (1) 児童生徒に対する調査の主な結果②

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質問項目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
地域社会や	今住んでいる地域の行事に参加していますか	56.3	55.3	52.7	44.7	40.7	40.0
	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか	52.9	52.1	51.3	45.5	42.5	40.7
活用ICT機器の	学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など）（「ほぼ毎日」+「週3回以上」の割合）	41.7	50.1	43.9	50.8	44.1	37.2
	学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか（「ほぼ毎日」+「週3回以上」の割合）	25.9	26.8	22.5	19.7	25.4	17.8
	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	94.6	95.2	94.4	95.0	94.4	92.6
主体的・対話的で深い学びの 学習の時間	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	54.9	59.4	65.4	53.2	54.3	63.3
	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	74.4	74.7	77.3	76.4	73.0	79.2
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか	77.1	78.4	80.1	79.5	76.9	78.7
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	76.6	76.8	78.2	71.8	70.5	74.7
	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいましたか	70.0	73.2	72.7	69.7	71.3	72.1
理解度の	国語の授業の内容はよく分かりますか	82.6	85.1	84.0	83.9	77.1	81.2
	算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか	77.0	80.6	81.2	73.2	69.2	76.2
	理科の授業の内容はよく分かりますか	91.2	88.9	88.5	73.6	69.7	75.2

※第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン、「熊本の学び推進プラン」、「『熊本の学び』アクションプロジェクト」に関連する項目の中から抽出

2 - (2) 学校に対する調査の主な結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
指 生 導 徒	調査対象学年の児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	91.0	87.5	87.2	87.5	92.1	95.6
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか	100	99.4	98.7	100	99.4	98.1
向 学 上 校 に 関 連 運 営、 教 員 の 資 質 の 状 況	校長として、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	86.4	84.2	73.2	62.5	70.5	55.7
	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	86.4	95.1	94.8	75.0	92.7	91.3
	児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	90.9	96.3	94.2	100	96.3	93.3
	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加含む)	86.4	83.8	76.0	75.0	88.6	73.0
に び 主 関 的 視 的 点・ 取 組 か 対 話 的 状 況 の 授 業 改 善	調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	81.8	91.8	87.2	74.5	87.4	87.9
	調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	72.7	78.3	75.1	75.0	78.9	80.7
	調査対象学年の児童生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	81.8	84.1	80.9	87.5	84.3	86.2
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	81.8	91.8	88.0	100	93.4	88.2
家 庭 学 習	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか	95.4	97.9	96.5	100	95.8	93.6
	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか	90.9	93.9	89.7	100	95.2	86.9

※第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン、「熊本の学び推進プラン」、「『熊本の学び』アクションプロジェクト」に関連する項目の中から抽出

2 - (2) 学校に対する調査の主な結果②

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	小学校			中学校		
		管内	県	全国	管内	県	全国
ICT	調査対象学年の児童生徒が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索）では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか（「ほぼ毎日」+「週3回以上」の割合）	54.5	69.6	61.9	62.5	62.1	56.2
	調査対象学年児童生徒同士がやりとりがやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますかどの程度行っていますか（「ほぼ毎日」+「週3回以上」の割合）	36.3	42.4	31.3	25.0	40.9	27.8
小中連携	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	72.8	58.5	52.7	50.0	65.7	61.1
	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか	59.1	51.5	48.2	62.5	65.1	58.0
の全学調の結果等活用	令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	100	97.6	95.9	100	98.8	92.7
	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100	97.3	91.7	100	97.0	88.5
症新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 への 対 応	令和3年度の新型コロナウイルス感染症の影響による、調査対象学年の児童生徒に対する、夏季等の長期休業期間の延長、臨時休業、短縮授業・分散登校の期間中、家庭での学習としてどのようなものを行っていましたか（「全校で実施」+「一部の学年・学級で実施」の割合）						
	・教科書による学習（デジタル教科書を含む）	22.7	55.2	36.0	25.0	53.0	33.6
	・学校が作成したプリントなどによる学習（電子メールや学校のホームページなどを活用して配信する場合を含む）	45.5	59.8	41.7	25.0	56.6	39.8
	・同時双方向型オンライン指導を通じた学習	9.1	48.8	25.5	0.0	47.5	24.8

※第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン、「熊本の学び推進プラン」、「『熊本の学び』アクションプロジェクト」に関連する項目の中から抽出

2 – (3) 質問紙調査に関する成果と課題

【児童生徒に対する調査から】

- 昨年度に引き続き、「地域や社会」に関する肯定的回答が全国平均に比べ高かった。地域との関わりが高く、郷土愛が育まれている。将来の夢や目標についても全国平均を上回り、上益城の人づくりが継続して取り組まれている成果である。
- 「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」に関する肯定的回答の割合が全国平均に比べ低い。中でも、昨年度に引き続き「自分の考えを発表する機会では、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」という問いに対する評価が低く、このことが教科に関する調査の全教科における思考・判断・表現の定着状況に表れており、授業改善は必須である。

【学校に対する調査から】

- 「全学調の結果等の活用」に関する質問について、管内すべての小・中学校が肯定的回答をしており、校長のリーダーシップのもと、学力向上検証改善サイクルが確立されつつある。
- 児童生徒に対する調査同様「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」に関する肯定的回答の割合が全国平均に比べ低く、学校も児童生徒の実態を把握している。この実態を改善するために必要な実践事項を整理し、取り組む必要がある。

3 今後の重点取組

- 「各学校、各町教育委員会による結果分析と共通理解・共通実践」
 - ・ 全国学力・学習状況調査の解説資料や報告書を活用し、全職員による、問題、質問項目ごとの考察を行い、課題や解決に向けた共通実践の共有化を図る。
- 「学校組織マネジメントを生かした授業改善」
 - ・ 校長が具体的で分かりやすいビジョンを提示し、全職員が自主性と協働性をもって授業改善を図る。
 - ・ 単元全体を通して、「自分で考える」「自分の考えを工夫して発表する」「自分の学びを振り返る」など、児童生徒を「学びの主体」とする指導を充実させる。
- 「『熊本の学び』アクションプロジェクト～上益城R4～」の推進
 - ・ 児童生徒が分かる喜びを実感し、「分かるまで指導してもらった」と感じるような「まとめ、振り返り」の時間を確保する。
 - ・ 児童会・生徒会、保護者・地域と連携し、計画的・主体的に家庭学習に取り組める取組や、家庭においてメディアをコントロールする力を付ける取組を充実させる。